

深沢けんいち と共に考えて

TEL 0287-54-3944
FAX 0287-54-4006
携帯 090-8894-6713

行政批判は懲罰？

屯田兵通信で行政批判をしている事が、「行政を誹謗中傷している」、「議員の品位を傷つける」と有志議員**高崎議員・鈴木議員**（旧黒羽出身）他4名の議員から懲罰動議が出された！

行政を監視し、批判していくのが議員としての任務であり、責務と信じています。

市議会の懲罰動議こそ言論・政治活動への悪質な弾圧以外の何物でもありません。

今後とも行政が適正かつ公正に行われているかを監視し、検証し、お知らせして行くつもりです。

活動報告

9月10日 一般質問をした。

- ①黒羽統合中学校建設工事に係る件
- ②入札制度
- ③高齢者外出支援事業
- ④大田原市のスポーツ振興支援事業とパリマラソンについて

9月24日 市議会会派真政クラブ政務調査費について市長に住民監査請求を行った。（25日下野・朝日参照）

9月25日 最終議会 中学校建設入札及び補正案件5件に反対討論を行う。

統合中建設反対討論内容 (全文)

この議案に反対の立場で討論します。

新市建設計画事業といえども、大田原市民にとって必要なものは必要なものとして、見直すべきものは見直していくべきと考えます。

そこで今回の黒羽統合中建設ですが、黒羽地域の児童数の急速な減少が進み、教育にも支障をきたすような事態になり、現在の4つの中学校を見直し、1つにすることには多いに賛成であります。

しかしながら、統合するという事と学校施設を新しく作るという事は全くの別問題であります。

しかもこの間の入札不調騒ぎは大きくマスコミでも取り上げられ、地域住民

も改めて中学校統合問題に直面し、多くの市民各位が巨額な財政投資には大きな疑問を呈しつつあります。

しかも昨今の国・地方自治体の財政状況からみれば明らかなように先行き不透明な時代に遭って30数億円に及ぶ財政投資が、間違いなくそこに学ぶ子供たちに背負わされることになったのでは何のための学校施設建設なのか、誰のための建設なのか改めて市行政は問い直されていく事になります。

市民とりわけ黒羽地域の市民の多くは現在の中学校そのものがまだまだ耐用年数にもほど遠い中、なんで新しい施設を作るのか大きな疑問の声が日増しに高まっています。

将来、次世代にツケを回してはならないし、絶対にすべきではないと判断し、入札案件の承認を求める本議案に対して私は反対します。

【編集後記】

栃木県に住民監査請求を提出した帰途、宇都宮市議会議員の案内で宇都宮市議会事務局、宇都宮市議会副議長を表敬訪問した。

開口一番『いろいろあるようですね』……。

議会設備も職員も当市と比較して雲泥の差があるなあと実感しました。

さて10/1付の下野新聞に『将来負担比率』が報道されていた。

県内のワースト上位に記されており、これは日光市に次ぐ高いものです。

税金の無駄使いを許さない。

**政治は弱者のために
行政は公平・平等に**

市民が安心して暮らせる町作りを

【略歴】

県立大田原高校普通科卒

中央大学理工学部卒

オンブズ栃木会員

市民クラブ所属

地方自治を学ぶ勉強会未来塾副代表

おねがい

屯田兵通信のご愛読ありがとうございます。これまで多くの方々に応援をしていただいております。

一回発行するのに黒羽・湯津上・金丸・佐久山に配布すると印刷代、折り込み代として¥70,000の費用がかかります。

お知らせする回数と配布地区の拡大をしたいと願っていますが資金が不足しています。ご協力をお願い致します。

振り込み先

大地を考える会 事務局

郵便貯金記号 10750-2 番号 10108331

一口 ¥500の御協力をお願いします。